

**SHOWA  
DENKO**



# 株主のみなさまへ

第101期 中間報告書

平成21年1月1日～平成21年6月30日

昭和電工株式会社



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社第101期中間期(平成21年1月1日から平成21年6月30日まで)のご報告を  
させていただくにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当上期におけるわが国経済は、世界経済の急速な悪化の影響を大きく受け、輸出や生産活動が極めて低調でありました。上期後半に入り輸出や生産の一部に持ち直しの動きがみられましたが、企業収益は厳しい状況が続きました。

このような情勢下、当社グループは、電子部品、自動車等顧客業界の大幅な減産によって、全部門での生産調整を余儀なくされました。上期後半には、販売数量の回復や生産設備稼働率の上昇などはありませんでしたが、収益面では、顧客業界の長引く在庫調整による影響を大きく受けました。

この結果、当上期の連結営業成績につきましては、売上高は、各部門における販売数量の減少により2,866億83百万円(前年同期比43.9%減少)となり、営業損益は228億61百万円の損失(同474億88百万円減少)、経常損益は343億34百万円の損失(同523億81百万円減少)、純損益は465億31百万円の損失(同582億61百万円減少)となりました。

当社グループは、事業環境変化に対応した構造改革の実行によって、営業成績の回復に努めているさ中であり、中間配当については見送ることとさせていただきます。株主の皆様には、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

当下期のわが国経済見通しにつきましては、上期前半を底として弱いながらも回復傾向にありますが、その回復度合いにはばらつきが見られるため、引き続き厳しい企業経営環境が予想されます。

このような情勢下、当社グループにつきましては、2011年以降の新連結中期経営計画に備える助走期間と位置づけた「パッション・エクステンション」に基づき、抜本的な事業の見直しや生産体制の最適化等の構造改革を断行することで、各部門での黒字転換を目指すとともに、成長分野の開発製品の育成加速に向けて、効率的に経営資源を配分してまいります。また、CSR(企業の社会的責任)を全ての事業活動の基本に置くとともに、コーポレート・ガバナンスの充実、コンプライアンスおよびリスク管理の強化を行うことにより、社会と市場での高い信頼と評価を得る企業グループの実現を目指してまいります。

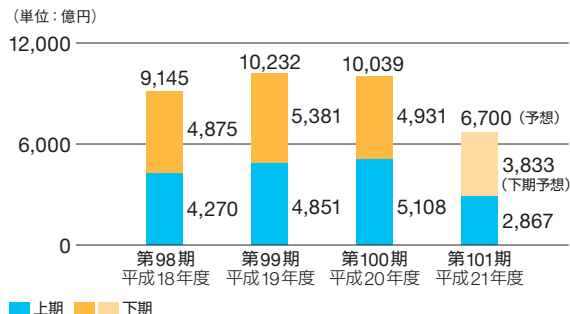
株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解をいただき、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長

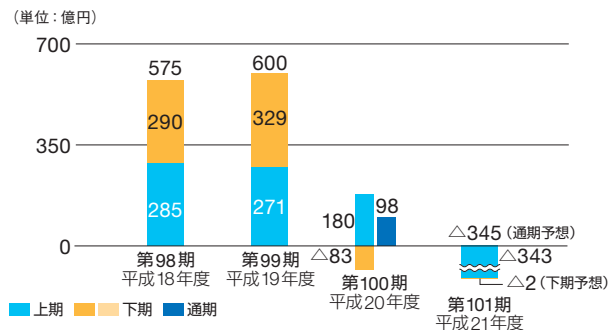
高橋恭平

# 連結業績ハイライト

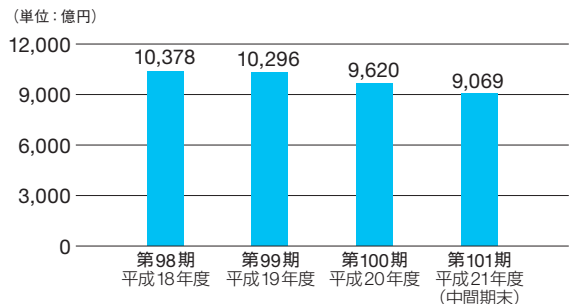
## 売上高



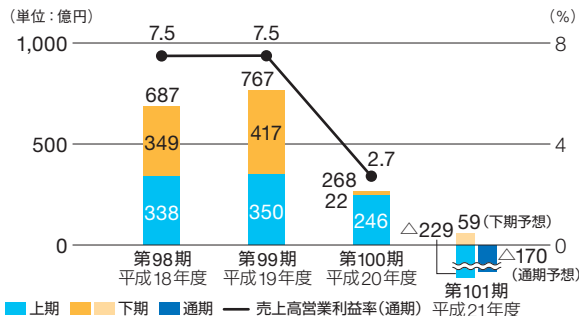
## 経常損益



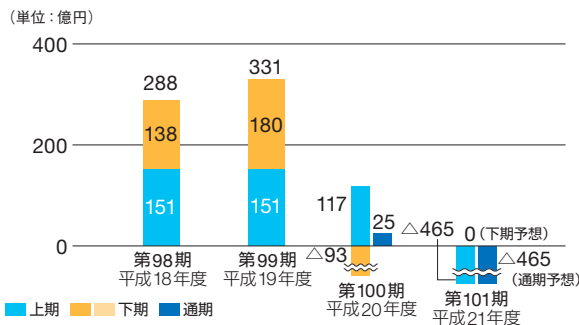
## 総資産



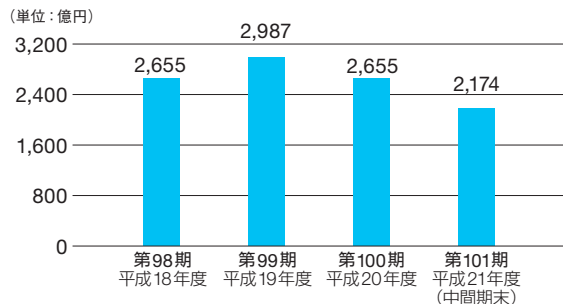
## 営業損益・売上高営業利益率



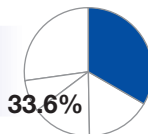
## 純利益



## 純資産



## 石油化学部門



売上高構成比

### 売上高

962億29百万円 (前年同期比53.0%減少)

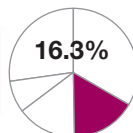
### 営業利益

20億31百万円 (前年同期比66.3%減少)

オレフィン事業、有機化学品事業は、需要回復に伴い販売数量が増加してまいりましたが、上期前半の大幅な販売数量の減少、原料ナフサ価格低下に伴う販売価格の低下により減収となりました。

### ■高付加価値ポリプロピレンの能力増強を決定

当社の持分法適用会社であるサンアロマー株式会社は、大分工場の一部設備の改善を行い高付加価値ポリプロピレンの製造を開始いたします。また、改善に伴う既存製品の能力不足を補うため、同工場の設備能力を約6万トン増強するとともに、省エネと設備管理の効率化によるコストダウンを実現いたします。本工場の竣工は平成22年上期を予定しております。



売上高構成比

### 売上高

468億5百万円 (前年同期比14.8%増加)

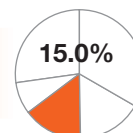
### 営業損失

11億30百万円 (前年同期比47億95百万円減少)

## 化学品部門

アクリロニトリル、合成ゴム「ショウブレン®」は、上期後半には、前半に比較して販売数量は回復してまいりましたが、上期前半の大幅な減産の影響により減収となりました。一方、平成20年6月に昭和炭酸株式会社を連結子会社化したことにより、全体としては増収となりました。

## 電子・情報部門



売上高構成比

### 売上高

430億24百万円 (前年同期比57.4%減少)

### 営業損失

156億83百万円 (前年同期比231億57百万円減少)

上期後半は、前半に比較して、ハードディスク、半導体向け特殊材料ガスは需要増により販売数量が回復し、化合物半導体、レアアース磁石合金は引き続き顧客業界での在庫調整があったものの販売数量は増加しました。上期は、主に前半にハードディスクを中心に

販売数量が減少したことにより減収となりました。

### ■半導体用次世代

### エッチングガスC<sub>4</sub>F<sub>6</sub>事業の拡大強化

当社は、米国エアープロダクツ・アンド・ケミカルズ社と共同で、環境負



エッチングガスC<sub>4</sub>F<sub>6</sub>製造設備

荷の極めて少ない半導体向けエッチング用高純度ガスC<sub>4</sub>F<sub>6</sub>の生産を川崎事業所において本年中に開始いたします。C<sub>4</sub>F<sub>6</sub>は、既存のエッチング用ガスと比較して微細加工性や選択性に優れているため、需要の拡大が見込まれています。

### ■カーボンナノチューブ新グレード「VGCF®-X」の 量産を決定



VGCF®を使用した樹脂製搬送器具

当社は、樹脂複合材分野向けに最適な製品設計を行ったカーボンナノチューブ「VGCF®-X」の量産設備を大分コンビナート内に建設し、平成22年上期より年間400トンの生産を開始する予定です。本製品を樹脂に少量添加することにより、クリーンルーム内で使用される搬送器具に高い導電性を安定的に付与し静電気の発生を抑制することから、半導体やハードディスクの品質向上に貢献いたします。

### ■世界最高出力 植物育成用4元系赤色LED素子を開発

当社は、本年4月より、植物育成に最適な波長光を発



4元系赤色LED

する4元系赤色LED素子の開発に成功し、サンプル販売を開始いたしました。4元系LEDではこれまで困難であった植物育成に最適な波長660ナノ

メートルの光を発光させることに成功し、世界最高（当社推定）の発光出力を達成したものです。レタスなどの野菜を人工光で栽培する植物工場等への用途開発を進めており、本年5月には、経済産業省の完全制御型植物工場モデル施設の光源として採用されました。

### ■自動車向けリチウムイオン電池用黒鉛負極材 「SCMG®」の販売を開始

当社は、大型リチウムイオン電池向けの黒鉛負極材「SCMG®」の開発に成功し、国内外複数の電気自動車の大型リチウムイオン電池部材として採用され、販売を開始いたしました。リチウムイオン電池は、省資源という特性から大きな需要が見込まれており、「SCMG®」を電気自動車用リチウムイオン電池の負極に用いることにより、大電流の使用と電池の長寿命化が可能となります。平成24年には大町事業所の年間生産能力を現状の1,000トンから3,000トンに引き上げます。

### ■昭和電工HD山形株式会社の発足

当社は、本年7月1日、富士通株式会社よりハードディスク生産会社の全株式を譲り受け、昭和電工HD山形株式会社を発足させました。これにより当社グループのハードディスク生産は、千葉、山形、台湾、シンガポールの世界4拠点体制となりました。世界最大のハードデ



昭和電工HD山形株式会社

ィスク外販メーカーとして、最先端の技術で市場の大容量化ニーズに対応してまいります。

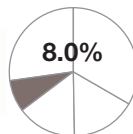
## 無機部門

売上高

228億80百万円 (前年同期比47.4%減少)

営業利益

3億14百万円 (前年同期比96.8%減少)



売上高構成比

セラミックス事業は需要回復の遅れ、人造黒鉛電極事業は顧客業界の需要回復の遅れと在庫調整の影響を受け、販売数量が減少したことにより減収となりました。

### ■光触媒の量産を開始

当社の連結子会社である昭和タイタニウム株式会社は、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構が開発した可視光型光触媒の生産設備を設置し、量産を開始いたしました。本製品は、従来は十分な効果が得られなかった蛍光灯などの室内光においても、空気浄化、防汚、抗菌、抗ウィルス等の光触媒機能を発揮することから、新型インフルエンザ対策などへの有効性が期待されております。

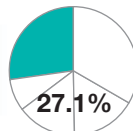
## アルミニウム他部門

売上高

777億44百万円 (前年同期比35.6%減少)

営業損失

67億62百万円 (前年同期比74億78百万円減少)



売上高構成比

上期前半に比較して、圧延品事業はコンデンサー用高純度箔の販売数量が増加し、熱交換器事業、ショウテック事業は自動車向け出荷数量が小幅に増加し、アルミニウム缶は販売数量が増加しましたが、押出・機能材事業はレーザービームプリンター用アルミニウムシリンダーの販売数量が減少しました。上期は、前半の各事業の販売数量減少により減収となりました。

## その他のトピックス

### ■昭和電工ブランドマークの制定

当社は、本年6月に創立70周年を迎え、英文の社名をデザイン化したマークを新たに制定いたしました。

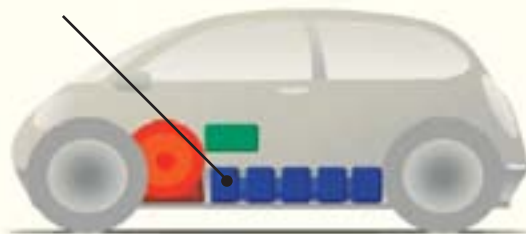
このマークは、読みやすく安定感のある書体により力強さを、ユニークなSのフォルムを用いることによりオリジナリティを表現しています。オンリーワン・ナンバーワン製品をご提供し、社会の発展に貢献していくという当社グループの企業理念実現への熱い思いを込めております。

# 自動車用リチウムイオン電池向け「VGCF®」・「SCMG®」 ～リチウムイオン電池の大電流放電化・長寿命化に貢献～

ハイブリッド車や電気自動車等のエコカーのキーデバイスとして大型リチウムイオン電池の需要が高まっています。

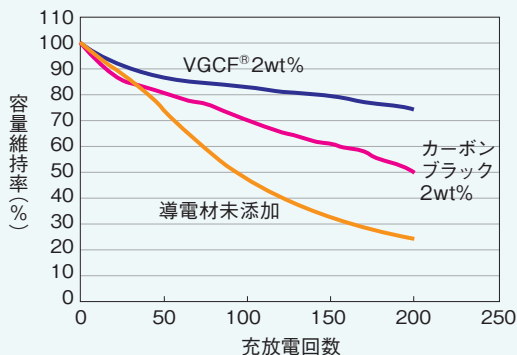
当社は、蓄積された人造黒鉛の製造技術とお客様と協働で培ってきたリチウムイオン電池の評価技術により開発した正負極添加材「VGCF®」と黒鉛負極材「SCMG®」を、大型リチウムイオン電池の基幹部材として供給しており、自動車向けに要求される電池の高性能化を実現しています。

- 正負極添加材「VGCF®」
- 黒鉛負極材「SCMG®」
- アルミラミネート箔



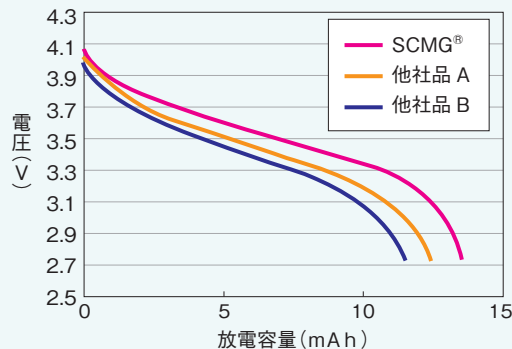
## ■「VGCF®」の特長

「VGCF®」をリチウムイオン電池の正極および負極に少量添加することで、電池のサイクル寿命が向上し、また、導電特性の向上で大電流放電を必要とする製品への使用が可能となります。特に最近では安全性に優れた鉄系正極材への採用が増えています。



## ■「SCMG®」の特長

「SCMG®」をリチウムイオン電池の負極材として使用することで、電池の急速放電特性とサイクル寿命を向上させます。急速放電特性の向上により大電流の使用が、また、サイクル寿命の向上により電池の長寿命化が可能となります。



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 平成21年6月30日現在	前期 平成20年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	276,542	321,657
現金及び預金	43,444	40,954
受取手形及び売掛金	101,094	117,190
たな卸資産	98,165	117,749
その他	34,687	46,714
貸倒引当金	△ 848	△ 950
<b>固定資産</b>	630,309	640,353
有形固定資産	517,296	531,633
無形固定資産	13,841	13,042
のれん	4,018	3,511
その他	9,823	9,531
投資その他の資産	99,172	95,677
投資有価証券	68,320	65,623
その他	31,825	31,237
貸倒引当金	△ 974	△ 1,182
<b>資産合計</b>	<b>906,851</b>	<b>962,010</b>

(単位:百万円)

科目	当中間期 平成21年6月30日現在	前期 平成20年12月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	335,898	363,774
支払手形及び買掛金	84,768	140,427
借入金・社債・コマーシャルペーパー	186,349	160,165
その他	64,782	63,182
<b>固定負債</b>	353,553	332,777
借入金・社債	245,880	232,750
退職給付引当金	27,583	28,659
その他	80,090	71,369
<b>負債合計</b>	<b>689,451</b>	<b>696,551</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	180,314	232,822
資本金	121,904	121,904
資本剰余金	37,945	37,945
利益剰余金	20,638	73,146
自己株式	△ 173	△ 173
<b>評価・換算差額等</b>	13,319	7,805
<b>少数株主持分</b>	23,767	24,832
<b>純資産合計</b>	<b>217,400</b>	<b>265,459</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>906,851</b>	<b>962,010</b>



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成21年1月 1日から 平成21年6月30日まで	平成20年1月 1日から 平成20年6月30日まで
売上高	286,683	510,788
売上原価	267,363	443,373
売上総利益	19,320	67,415
販売費及び一般管理費	42,182	42,789
営業利益又は損失	△ 22,861	24,626
営業外収益	3,719	4,324
営業外費用	15,191	10,903
経常利益又は損失	△ 34,334	18,047
特別利益	1,943	4,332
特別損失	16,448	4,554
税金等調整前中間純利益 又は純損失	△ 48,839	17,824
法人税等	△ 2,284	5,747
少数株主利益又は損失	△ 23	347
中間純利益又は純損失	△ 46,531	11,730
一株当たり中間純利益 又は損失	△ 37.29円	9.40円

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成21年1月 1日から 平成21年6月30日まで	平成20年1月 1日から 平成20年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,592	12,520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,396	△ 24,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,866	1,741
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,430	△ 1,089
現金及び現金同等物の増減額	2,307	△ 11,198
現金及び現金同等物の期首残高	40,949	31,887
その他の現金及び現金同等物の増減額	—	1,169
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,256	21,857

## 連結決算対象会社

連結子会社数：39社

持分法適用会社数（関連会社を含む）：18社

※当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。これに伴い、前年までと会計基準が異なりますが、数値比較のためご参考として前年の財務情報を掲載しております。

※第2四半期累計期間について中間期と表記しております。

会社概要 (平成21年6月30日現在)

社名 昭和電工株式会社  
 英文社名 Showa Denko K.K.  
 本社 〒105-8518  
 東京都港区芝大門一丁目13番9号  
 電話(03)5470-3111(総務グループ)  
 設立 昭和14年6月  
 資本金 1,219億4百万円  
 従業員数(連結) 11,226名  
 ホームページ <http://www.sdk.co.jp/>

当社の主な事業所



当社グループの海外拠点



役員 (平成21年6月30日現在)

取締役・監査役

取締役会長 大橋 光夫  
 代表取締役社長兼社長執行役員 高橋 恭平  
 代表取締役兼専務執行役員 井本 憲邦  
 取締役兼常務執行役員 玉田 哲夫  
 取締役兼常務執行役員 野村 一郎  
 取締役兼常務執行役員 坂井 伸次  
 取締役兼執行役員 大井 敏夫  
 取締役兼執行役員 宮崎 孝孝  
 取締役兼執行役員 塚本 建次  
 取締役兼執行役員 市川 秀夫  
 取締役兼執行役員 白石 俊一  
 ※取締役 秋山 智史  
 常勤監査役 伊藤 博  
 常勤監査役 柏田 邦夫  
 ※監査役 糸田 省吾  
 ※監査役 岩井 英司  
 ※監査役 手塚 裕之

執行役員

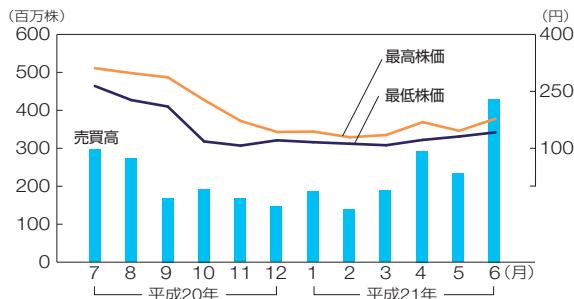
執行役員 村田 安通  
 執行役員 竹内 徹  
 執行役員 佐藤 勝信  
 執行役員 小鍛治 直史  
 執行役員 海老沼 彰  
 執行役員 鯉沼 晃  
 執行役員 酒井 仁和  
 執行役員 福田 俊司  
 執行役員 岩崎 廣和  
 執行役員 牧 昌和  
 執行役員 水野 義治  
 執行役員 天野 賢

(注) ※印の取締役および監査役は、社外役員であります。

株式の状況 (平成21年6月30日現在)

発行可能株式総数..... 3,300,000,000株  
 発行済株式総数..... 1,248,236,801株  
 株主数..... 108,968名

株式データ



# 株券電子化に関するお知らせ

## 「特別口座」で株式をお持ちの株主様へ

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）へ預託されなかった株主様には、当社の株主名簿管理人であるみずほ信託銀行に「特別口座」を開設しております。特別口座は、株主様の権利を保全するための暫定的な口座であり、この特別口座に記録された株式は、証券会社の取引口座に振り替えなければ売買できません。

●みずほ信託銀行 証券代行部 TEL:0120-288-324

## 配当金のお受取方法について

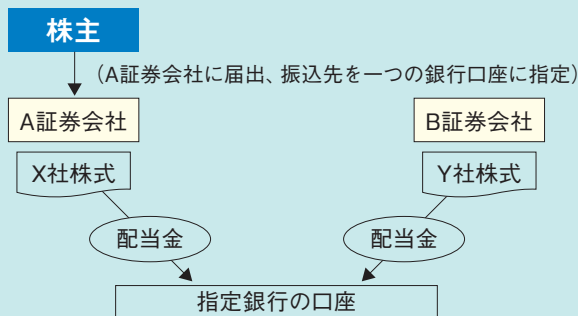
配当金の受取方法は、これまでゆうちょ銀行等の窓口で「配当金領収証」と引き換えに受領する方法と銀行等の預金口座を個別銘柄ごとに指定して受領する方

### 新方式1: 登録配当金受領口座方式

取引先の証券会社に1つの銀行の預金口座を届け出ることにより、保有するすべての銘柄の配当金を、その口座でまとめて受け取ることができます。銘柄ごとに振込み依頼の手続きをする必要はありません。

※ゆうちょ銀行の口座は、指定できません。

※複数の証券会社に口座を持っていても、1つの証券会社に届出をすれば他の証券会社での手続きは不要です。



また、証券会社の取引口座に株式を振り替えると、配当金受領等の面で便利になりますので、お早めに証券会社の取引口座への振替をお願いいたします。

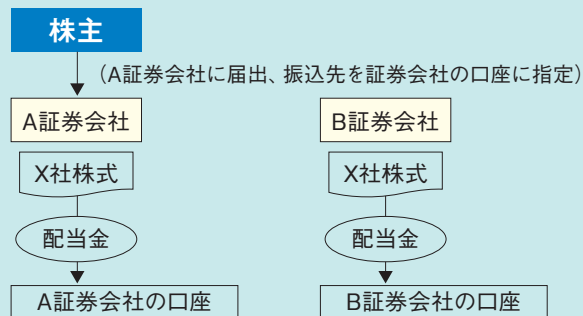
特別口座からの振替のお手続きにつきましては、株主名簿管理人であるみずほ信託銀行、または、お取引の証券会社へお問い合わせください。

法の2通りでしたが、株券電子化実施に伴い新たに2つの方法が加わりました。お手続き等の詳細につきましては、お取引の証券会社へお問い合わせください。

### 新方式2: 株式数比例配分方式

取引先の1つの証券会社に届け出ることにより、証券会社の株式の口座残高（配当基準日現在の残高）に応じた配当金を、各証券会社の取引口座において受け取ることができます。

※複数の証券会社に口座を持っていても、1つの証券会社に届出をすれば他の証券会社での手続きは不要です。



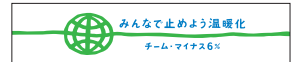


## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
株主確定基準日	(1)定時株主総会・期末配当 12月31日 (2)中間配当 6月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告掲載方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。 公告掲載URL <a href="http://www.sdk.co.jp/contents/investment_info/index.htm">http://www.sdk.co.jp/contents/investment_info/index.htm</a>
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先) 電話お問い合わせ)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-288-324

## ご案内

当社は、「単元未満株式の買増制度」を導入しております。  
1単元（1,000株）に満たない株式をご所有の株主様は、単元未満株式と併せて1単元になる株式を買増請求することができます。お手続きなどの詳細については、当社株主名簿管理人（みずほ信託銀行）へお問い合わせください。  
なお、単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたします。



昭和電工は、環境省の主催する地球温暖化防止活動の趣旨に賛同し、全社で温室効果ガス削減活動に取り組んでいます。



昭和電工はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます。



適切に管理された森林資源を用紙の材料にしています。



大豆油を主体とする植物油溶剤のインキを使用しています。



含有する石油系溶剤を植物油溶剤にほぼ100%置き換えたNON-VOC（揮発性有機化合物ゼロ）インキを使用しています。



IPA（インプロピルアルコール）等の有害物質を含む「湿し水」を使わない水なし印刷を採用し、VOCの発生を大幅に削減しています。



色覚の個人差を問わず出るだけ多くの方に見やすいユニバーサルデザインにしています。